

1	【作品タイトル（仮題）】
2	毒舌メイド
3	
4	【登場人物】
5	「リリイ」 二歳
6	一人称…… 私
7	設定 ……
8	皮肉屋で賢い、生まれた時からメイドさんな女の子。
9	元は主人公の父親に仕える身だったが、没落と逝去により、今は極東の島国でご主人様と二人で暮らしている。
10	
11	ご主人様のが大好き。
12	
13	【主人公】
14	ロリコン。ご主人様。
15	

トラッカー プロローグ

■狭い1Rの賃貸

SE: マイバッグを床に置く がさっ

//正面・中 買い物から帰ってきた

ふう…

まったく、ご主人様は心配性ですね

買い物なんてリリー一人でもできるんですから

休日だからってわざわざついてこなくてもよかったのに…

二人揃っておてて繋いでお買い物なんて、

発情期のカップルとでも思われかねないですよ

それも、この可愛いリリーちゃんにメイド服を着せたまま…

まいばす何とかのレジ打ちバイトも、

驚き桃の木空元気、からげんき 目ん玉まん丸まっしろけ…

…まあ、メイド服しか持っていないだけではありますが

1
2 —ん？

3 いえ、別に服が欲しいだなんて思っていないですよ

4 リリイには、内面の気品から溢れ出る可愛さがあるんです

5 くだらない流行ファッションなんかで彩る必要はありません

6 そんな心配をする暇があるなら、

7 一秒でも長く働いてお金を稼いでもらえますか

8 そうすれば、もっといい物を食べられるようになりますよ

9

10 —学費…？

11 —む

12 まさかご主人様、

13 リリイを学校に通わせようとしているんですか？

14 確かにリリイは、まだ小学校に通わなきゃいけない年齢の、

15 か弱く可愛い女の子ですが——

16 ご存知リリイは元良家のメイド、
りょうけ

17 血筋を辿れば、母もあばも元メイド長、

18 せいかくじやく
生粋至極のメイドさんです

1 体は小さくても、さんざ英才教育を施された身…

2 そこのちびっ子の学力では、束になっても敵いません

3

4 それに、この国の小学校では、

5 やれ絵の具を買えだの彫刻刀を買えだの、

6 細々した出費が絶えないものだこまごまと噂で聞いています

7 いくら授業料がタダとはいえ、

8 無理にそんな所に行くくらいなら、

9 少しでも家計を軽くすることを考えていた方が有意義ですよ

10

11 ……

12 …友達できる気も、しませんし

13

14 //あの頃を思い出して、少しトーンを落として

15 …ライデルベルグ家の没落は、

16 こんな極東の小さな島国でも、きっと伝わっていますから

17 …世界を揺るがす大ニュース、

18 大海原をはるばる超えて、トレンド一位間違いなし…
おおつなはらい

1

…気にすること、ないですよ

2

元はと言えば、酒漬け親父の尻拭い…

3

屋敷を勝手に抵当にぶち込んだかと思えば、

4

暇さえあれば権力がざしてメイドを抱いて――

5

拳げ句の果てには

6

ギャンブル狂いで野垂れ死んだあのクソ親父こそ、

7

諸悪の根源、大三元…

8

一人息子のご主人様は、役満親父の火消しに奔走、

9

さらば特権、抵当権…

10

気付けば極東ワンルーム、月4万の大豪邸…

11

…ばかですね、ほんと

12

遺産独り占めして逃げてしまえば

13

多少は豪華な余生を過ごせたでしょうに

14

15

…別に、悪く言う気はないですよ

16

使用人全員と山分けだなんて、

17

いかにもお人好しが過ぎるご主人様らしいじゃないですか

18

1 行く先は、詐欺師共のいい力モですネ

2
3 ……

4 …冗談ですよ、わかってます

5 …あのろくでなしみたいに、なりたくなかったんでしょ
6 それでも、リリィだけ連れてきたのは――

7 ―唯一、あの人の魔の手が伸びていない女だったから、ですか

8
9 …すみません

10 冗談にしても、言い過ぎました

11 ご主人様の優しさは…わかってるつもりです

12
13 …リリィは、他のメイドさんと違って

14 まともなお仕事をできる年齢では、ないですから

15 ……もしあの時、

16 なけなしの遺産だけ渡されて街へ放り出されていたら――

17 リリィは…きっと――

18 ……

1

SE：立ち上がる

2

SE：マイバックがぶぶそ →

3

4

//空気を替えるように

5

——や、

6

無駄話はこちらまでにして、

7

買ってきた物、冷蔵庫にしまっておきますね

8

特売品なので、急がないと腐り落ちて、

9

その冴えない顔みたいにしおしょになってしまいますから

10

11

…ご主人様も、暇なら手伝っていいですよ

12

13

SE：主人公も手伝う がさごそ1〜2秒

14

15

SE：マイバッグ 手を止める →

16

17

ん——ん？

18

1 どうかしましたか

2 そんな、アリバイ工作の隙を突かれた真犯人のような顔をして…

3 残念ながら、ホームズなら席を外しています

4 真相は無念、闇の中…誠に遺憾な迷宮入り――

5

6 ／＼こっそり買っていたロウソクに気付かれて、

7 ――瞬間かりやすく動揺して、その後とぼける

8 ――え？

9 ――あ…

10 そのロウソクは――ん…

11 …さあ、何でしょうね

12 リリィは知りません

13 ご主人様が入れたんじゃないんなら、

14 間違ってカゴに入ってしまったんでしょう、きっと

15 無駄な出費が増えてしまったのは痛手ですが、

16 これはリリィが処分しますのです、お気になさらず

17 とりあえずは、

18 一旦ポケットにでもしまっておきましょう、そうしましょう

1

SE：ロウソクを奪い取ってポケットに入れる

2

SE：マイバッグがさぶそ ←

3

4

ほら、無駄口叩くよりも手を動かしてください

5

貴重な食料がダメになってしまいますよ

6

7

//気まずそうに、無言で買ったものをマイバッグから取り出す

8

ん…

9

…………

10

……

11

12

…ああ、そういえば——

13

14

SE：マイバッグがさぶそ →

15

16

今思い出した、本当にどうでもいい昔話なんですが——

17

18 —あの頃…

1 夜に、あのクソ親父の寢室の前にロウソクが灯っていれば、
2 それが――

3

4 //ちよつとトーン落として

5 ――メイドへの…夜伽の指示、でしたね

6 ロウソクの品種、香り、燭台しよくだいの配置、

7 その他諸々エトセトラ――

8 メイド達は、その組み合わせを見て

9 今日誰が、何人呼び出されているのかを把握していたんです

10 …リリィが、あの屋敷で最初に先輩から教わったのは、

11 掃除でも、洗濯でも、料理でもなく――

12 その合図を覚えること、でした

13

14 …ま、そんな細かいルールを知らなくとも、

15 ロウソクを合図にメイドが呼び出されていることくらい、

16 幼いご主人様にもバレバシだったみたいですし――

17 あんな風にコソコソ呼び出してた意味なんて

18 なかったのかもしれませんが

1

2 SE:マイバッグがさごそ ←

3

4 //ターン戻して

5

——おっと、無駄話をしてしまいましたね

6

ほら、ご主人様もぼけーっとしてないで、

7

残りのもやっちゃってください

8

9 (3秒程度、SEのみの沈黙)

10

11 SE:マイバッグがさごそ フェードアウト ←

12

13 トラック 終

14

1 トラック2 ぱんつ手コキ

2

3 ■狭い1Rの賃貸

4

5 SE:カレーを食べ終わる

6

7 //正面・中

8 ごちそうさまでした

9 …どうでした？ 今日のカレーのお味は

10 二日目至上主義をぶっ壊す、

11 初日から美味しい愛情カレーです

12

13 —そうですか、何よりです

14 ま、分かってましたが

15 …ご主人様は、向こうにいる頃から子供舌でしたから

16 —ブルストにシュニッツェル、

17 果てはアップルシュトゥル・デル…

18 リリイがこの国の家庭料理を作るようになってからも、

喜んで食べるものといえば、

ハンバーグにカレー、グラタンに唐揚げ…

その子供舌は、もはや天からの授かりものですね

好みバレバレ、偏食バレバレ

ご主人様は、もうすっかりリリイの掌の上です

——さて

では、残った分はリリイのお昼ご飯にするので

タッパーに移してしまいますね

SE：リリイ立ち上がる

//立ち上がった時に、ご主人の視線に気づいて

んっ——と…

——ん？

どうしましたか、ご主人さま——

——あ…

1 ん…

2 …まったく、とんだ変態ご主人様ですね

3 ちょっと女の子のスカートが捲^{めく}れていたからって、

4 そんなにじっくり見るなんて…

5 …そんなに気になるんですか？

6 リリィの、子供ぱんつ…

7 ん——

8

9 SE:スカートめくる

10

11 ——ほーら、

12 ——おぱんつ、ちらっ

13 ……

14 まったく…

15 ちよろすぎです、ご主人様

16 初めちよろちよろ、中までちよろちよろ、

17 リリィ泣いてもスカート下ろすな…ですね

18 …ん？

1 む、知らないんですか？

2 これは、この島に長らく伝わる童歌わらべうたですよ

3 何でも、

4 おぼんっ大好きなちよろいロリコンさんには気を付けろ、

5 とのことだとか

6 今まさに、リリィの子供ぱんつに釘付けなご主人様に

7 ぴったりです

8

9 //ご主人様が、父のように命令したがっていると察して

10 ん…

11 ……

12 どうしたんですか、ご主人様

13 今度は、そんなにじっくりリリィの顔を見て…

14 何か言いたいことがあるなら、言ってもいいんですよ

15 リリィは…ご主人様に仕える、メイドですから

16

17 //しばし沈黙、ヘタレご主人様には命令する勇気がない

18 ……………

1 ……

2 ……

3 ん…

4 はあ…まったく——

5 ——本当に、仕方のないご主人様ですね

6

7 では、ご主人様

8 ご主人様からは特に何も言うことがないようなので、

9 リリイから、一つ——

10

11 [／＼行目で「正面・密着」へ移動](#) 有声囁き

12 んっ——しょ…

13 リリイがぱんつを見せつけてしまったせいで、

14 ご主人様のご子息が、大変ご立派になってしまいましたね

15 このままでは、お風呂で羽を休めることもままならないでしょう

16 ……なので——

17

18 ——リリイが、手伝ってあげます

1

2 SE:ズボン脱がそうとする

3

4 んっ…しょ、ん——

5 ——ん？

6 なんですか、ご主人様

7

8 //「そんなことなくていい」やう言われて

9 ——はい？

10 む…

11 しなくて良いわけないでしょう

12 だって、現に——

13

14 SE:ズボンとパンツ脱がす

15

16 ん…っ——

17 ん——ほら

18 …こんなに威勢よく、ご挨拶しているじゃないですか

1 リリィの下着に

2 あんなに湿度たっぷりな視線を送っておきながら、
3 ほっとけば治まる、だなんて――

4 これではリリィ、いつ寝込みを襲われてしまうか、
5 安心して眠りにつくこともできません

6 あー…レイプ魔のご主人様に襲われるー…

7

8 SE：振り払うような衣擦れ

9

10 //一行目で「正面・中」へ移動 囁きストップ

11 ご主人様から本気の拒否を感じながら「おっと」

12 ―ッおっ…と…

13 ん…下半身は

14 こんなに威勢よく交尾欲求をアピールしているくせに、
15 そこまで強く拒否するなんて――

16 リリィのことがよっぼど嫌いだからなのか、それとも――

17 ―あの人みたいになリたくないから…ですか？

18

1 ……

2 ん——

3

4 〃一行目で「右・密着」へ移動 耳キス 以降ほぼ無声の囁き

5 んっ——ん…

6 ん——ちゅむ…

7

8 SE: ご主人、身じろぎ

9

10 つ…ん…っ——ちよ…ッ——

11 あまり激しく動かないでください、声出さないでください

12 壁薄いの、知ってるでしょう…っ

13

14 ん…

15 別に、これは私が勝手にやっていることです

16 命令なんて、当然、一言も——

17 ——ええ

18 あの人と違って——決して、ご主人様が性欲に身を任せて

1 小間使いに奉仕を命じたわけではないんです

2

3 //ぱんつ脱ぐ

4 ん——んっ…しょ…ん——

5

6 SE:リリィ、ぱんつぬぐ

7

8 //吐息たつぷりな有声囁き

9 ほら、ご主人様

10 …見えますか

11 これが、リリィの——ぱんつ、ですよ

12

13 SE:ご主人の顔に押し付ける ふあさ

14

15 ん——ふふ…

16 ちょっと顔に押し付けられただけで、そんなに息荒くして…

17 いい匂い、しますか？

18 ふわふわで、まだあったかくて、

1 ついちつきまでリリィのお股にぴっちりくっついていた、

2 子供ばんっ…

3 …ふふ

4 あちらの方も、とっても喜んでいますね

5 では——このぱんつで、包んで差し上げましょう

6 んっ——

7

8 SE: お股ぱんつ「ロキ ゆったり」 ←

9

10 んっ…んっ…

11 んっ…んっ…

12 ——ふふ…

13 女の子のぱんつで扱かれるだけで、

14 そんなに嬉しそうな声を漏らして…

15

16 …ふふ——いえ、いいんですよ

17 リリィは知っています

18 ご主人様が、女の子に縁のない人生を送ってきたこと…

1
2 屋敷中が、とくっても可愛いメイドさんで溢れているのに、
3 権威とお金でぶち込まれた名門校で、
4 朝から晩まで勉強勉強…詰め込み無理くり英才教育…
5 それでも、お年頃男子の下半身は、
6 蛍雪の功より性欲の虜…一人でしこしこ大暴走…
7
8 …ねえ、ご主人様
9 あの頃、メイド用浴場の近くで、
10 よくご主人様とすれ違うことがありましたよね
11 ご主人様にとっては、全く用のないはずの場所なのに…
12
13 ……
14 メイドさんの間では、
15 一つ、暗黙の了解のようなものがあっただんです
16 …お風呂に入る前、下着を脱いだ時は――
17 脱衣スペースの一番見やすく分かりやすい場所に、
18 広げて置いておきましょう、と…

1 …もし、お風呂上がりに、

2 着用済みの下着に白濁液がついていても――

3 誰にも言わず、いつも通り洗濯をしましょう、と…

4 ふふ――

5 ご主人様は、メイドさん達に大層愛たいそうされていたようですね、ふふ

6

7 ……

8 ん――話は変わりますが――

9 あの頃、身分の低いリリイ達メイドさんは、

10 毎日お風呂に入っていたわけではなかったんです

11 メイドさんがお風呂に入るのは、

12 定期入浴の日と、それから――

13 ――夜伽を命じられた日、だったんですよ

14 ふふ…おっと――話、変わってなかったですね

15 あのクソ親父は、下着なんかに欲情する必要もなく、

16 メイドを好きに抱き放題…犯し放題…

17

18 ふふ…

1 どうですか、ご主人様

2 ——妄想じゃない、本物女の子の、体温は

3

4 SE:ぱんつ「キ 中速 ←

5

6 //吐息たつぷりにエッロい耳舐め 奥までじゅぽじゅぽ

7 ん…んえあ——んじゅぷ…

8 ん——ちゅる、じゅるる…れうれう、ちゅっ…

9 んちゅ…ちゅづづづっ、ちゅるるっ…

10 んっんっ——れう、ちゅっ…

11 じゅるる…れうれうれう、んちゅ…ちゅっ、じゅるっ…

12 ——ぷはぁっ…

13

14 //一行目で「正面・密着」へ移動

15 ん——ふふ…

16 汗の味、ですね

17 冷や汗だか脂汗だか知りませんが、

18 女の子に密着されただけで、こんなにわかりやすく…

1

2 // 1行目で「左・密着」へ移動

3 んっ——ん…

4 ——ご主人様

5 リリィは、ご主人様に仕える、メイドさんです

6 ご主人様が一言命令すれば、リリィはいつでも、

7 ご主人様の体の全てを舐めて、

8 新品ぴかぴかに磨き上げるんですよ

9 もちろん…舐める以外にも、

10 命令されれば…どんなことでも、何でも

11 ——あの頃、あの人にそうしていた、数多のメイドのように

12

13 // 吐息たっぷりにエッロい耳舐め 奥までぐっぽり

14 ——ふふ…

15 ん…んえあ——

16 んっんっ、うあれろ…じゅるるっ、ちゅむるるう…

17 んちゅ、じゅっじゅ…んんむっ…れうれう…

18 んちゅる…じゅう、むぢゅちゅちゅ…じゅっる…

1 ん、ちゅっ——じゅるるっ…

2 ——ぷあっ…

3

4 ん…

5 リリィのぱんつ、ご主人様の我慢汁がどんどん広がってますね

6 …妄想、してしまいましたか？

7 毎日、いつでも、どこでも——

8 下半身がちょっと疼いたら、

9 使用人の女の子に、手軽に性欲をぶつけられる、生活…

10 女に困らない生活…女体に飢えない生活…

11

12 1行目で「正面・密着」へ移動 2行目でかるくキス

13 んっ——…

14 んっ——ちゅ…

15

16 ——ふふ…

17 こんな軽いキスで、そんなに驚いた顔をして…

18 この程度、あの人がどれだけの女と交わしてきたか——

1 数えていたら夜が空けてしまつくらい、普通のことですよ
2 ……どうでしたか？

3 初めての——女の、味は

4

5 ——はい？

6 ——ああ…

7 ふふ…勿論——リリィは…今のが、初めてです

8 よかったですね

9 あの^け人に——その気がなくて

10

11 ふふふ——はい

12 リリィは小さくか弱い女の子ですが、それでも——

13 先輩のメイドさん達から、こういうことを仕込まれていました

14 ——いつか、あの人に奉仕するため、だけに

15

16 //ねっつっとりディープキス

17 ほら、ご主人様——

18 ん——んえあ——んちゅ…

1 んちゅ、ちゅる…れうれう…

2 ん、じゅるる、んうつ、ちゅちゅん…っ

3 ぢゅうつ、んうつ…

4 んちゅ、ちゅる、んうれう、ぢゅるゅ…っ

5 んっちゅちゅう——んぷはあっ…

6

7 SE:ぱんっ「キ 速く ←

8

9 //一行目で「右・密着」へ移動

10 耳舐めを適宜挟みながら、射精煽りスパート

11 ——ふふ…どんどん硬くなって、どくどく脈打って…

12 女の子のぱんつに包まれるの、気持ちいいですね…

13 一つ屋根の下で暮らしてる女の子にオチンポ握らせるの、

14 気持ちいいですね…

15 ふふ…なら、このまま——出して、いいんですよ

16 精液——全部吐き出して、いいんです

17 こっそり屋敷の脱衣所に忍び込んで、

18 後ろめたく一人で処理するんじゃないくて——

1 —リリィに受け容れてもらいながら、

2 この小さな手に、子供ぱんつに——全部、ぶつけてください

3 ほら…ほら、ほら——

4 リリィのぱんつのふわふわな感触、最後まで楽しみながら——

5 射精…してください…

6 イく、イく、イく、イく——

7 このまま…リリィに、精液——くださあゝい…

8 オチンポ、最後まで——イくイくイく、イくう——

9 はあゝゝゝい——

10

11 SE：射精

12

13 びゅー…びゅー…

14 びゅる…びゅるびゅるびゅる…

15 びゅゅー…

16 びゅゅうゝゝゝ…

17

18

//一行目で「正面・密着」へ移動

1 —ん…

2 お疲れ様でした、ご主人様

3 こんなにあつあつの精液を、こんなにたっぷり…

4 —ふふ…

5 リリィのぱんつに、どんどん染み込んでいますね

6 特に——リリィのお股が当たっていた所に…

7 ここでオチンポ擦るの…そんなに、気持ちよかったですか？

8 それって、つまりは——

9

10 /—行目で「左・密着」へ移動しながら 無声囁き

11 —んっ…

12 それだけ——興味があるってこと、ですよ

13 リリィの——おまんこ

14 …まだ「一歳で、初潮前しちちちうで、一緒に暮くららららしていて、

15 ご主人様の使用人で、メイドさんなリリィの、

16 オチンポを迎え入れるための——穴…

17 おまんこ…おまんこです、ご主人様

18 リリィにも、おまんこ、あるんです

1

2 //吐息たつぷりな有声囁き

3 …別に、いいんですよ

4 —抱いてくれても

5 …ご主人様が、夜な夜な一人で『処理』してること—

6 —リリィは、知ってます

7 あの程度の寝たふりにも気付けないなんて…

8 女を抱きたくて仕方なくって

9 性欲で頭がいっぱいになっているとしか思えません

10

11 //ほんのちょっとだけ寂しそうな声色を混ぜて

12 …ねえ、ご主人様

13 メイドを抱いたからって

14 必ずしもあの人と同類だなんて—

15 —そんなことは、ないはずですよ

16

17 ……

18 …リリィは、抱いて欲しいです

1 ご主人様のこと——好きですから

2

3 女を抱く理由が、恋愛感情なら——

4 ——汚くないと…思いませんか？

5

6 トラック2 終

7

1 トラック3 セックス

2
3 ■ 主人公の部屋

4
5 SE: リリィがご主人の上に乗っかる

6
7 // 行目で「左・密着」から「正面・密着」へ移動 有声囁き

8 「僕もリリィが好きだ」と言われて

9 んっ——んっ…

10 ——ん…?

11 え——

12 あ——ふふ…

13 …嬉しいです、ご主人様

14 そんな風に、愛を囁いてもらえるなんて——

15
16 ふふ…はい、そうですよ

17 リリィもご主人様のことが好きで、

18 ご主人様もリリィのことが好きで——

1 これ以上ないほど、女を抱くべきシチュエーションですよ
2 六畳一間のバカップル、いちゃいちゃらぶらぶ大爆走…

3

4 SE：ちんちんにあてがう にちゅっ

5

6 /ー行目で「右・密着」へ移動 吐息たつぷりな有声囁き

7 ほらーんっ…

8 分かりますか、ご主人様…

9 今、おちんぽの先っぽに当たっているのが—

10 —リリイの…おまんこです

11 ここに、ご主人様のオチンポを入れるんですよ

12

13 —ん…？

14 リリイの、経験…？

15

16 ああ…

17 —ふふ…♡

18 そのことなら—安心してくだせい

1 リリィは——処女…ですから

2 返す返すも、よかったですね

3 …あの人に——その気がなくて

4

5 SE：挿入

6

7 あ——んっ、うッ——！

8 く——っはあ…はあ…っ

9 はあ…っ——ふふ…っ…はあ——

10 入りました、ね…ご主人様…

11 リリィの、一番大事な所に——ご主人様の、オチンポ…

12 ——ふふ、ふ…

13 どうですか、ご主人様…

14 リリィの、おまんこ——んうっ…！

15

16 SE：プスッン めっくひめ ↑

17

18 //声を抑えようとしても漏れちゃっつような音

1 吐息たっぷりにほぼ無声囁き
2 (喘ぎは全て、壁の薄いワンルームということを意識して)
3 主人公をリードしようとしているが、
4 あくまで初めてのセックスなので全然余裕なさそうに
5 んっ…ふうっ…
6 んあっ…ああ、んっ…んあっ…
7 はあ…はあ…んうっ…んああ…っ
8 んっ…あっ、んう…はあっ…
9 ふうっ…ご主人、様っ…んっ…
10 どう、ですか…はあ、んう…っ
11 あんっ…リリーの、んっ…生、おまんこ、はっ…はあ…っ
12 っ…はあ、はあ…ふうんっ、ああん…っ
13 気持ちいい、です、かっ…んっ…んうっ…
14 はあ、んやあっ、あふ、んうっ…
15 んあっ…んっ、んう…はあっ…
16 うやんっ、は、んん、んゆっ…
17 ふうんっ、ああん…っ
18

1 〃一行目で「正面・密着」へ移動 吐息たっぷりに有聲囁き

2 つはあっ…はーっ…

3 ふふ…ご主人、様…っ

4 そんな顔、して…あんっ…

5 そんな顔で、んっ…リリイのこと、犯してる、なんて…

6 ああいや、んっ…犯してる、じゃなくて――

7 ――抱いてる、でしたね…んゅっ…

8 ふうんっ、んうっ…んああ…っ

9 気持ちいいん、ですね…んっ…んうっ…

10 おまんこ、気持ちよくて…んっ…

11 腰、止まんないん、ですね…っ

12 は、んん、んゅっ…

13 そっ、ですよ…っ

14 こんなに小さくても、リリイは…あんっ…

15 女、なんです…あふっ、んうっ…

16 おまんこがついてる、んっ…女の子、なんです…

17 あなたと画思いの、女の子、なんです…っ

18 んっ、んう…はあっ…

1 だから——っ

2 もっと、激しくして…いいん、ですよ…

3 あ——んっ…

4

5 SE:ピストン 中速 ←

6

7 //一行目で「左・密着」へ移動 漏れるような無声ベースの囁き

8 さっきより少し激しめに、吐息たつぷり喘ぎ

9 はあ、んッ——っ

10 んゅっ、あふっ、んうっ…

11 んあっ…んっ、んう…はあっ…

12 んっ…はあっ…ほら、もっと、んあっ…

13 好きだ、好きだーって、あんっ…んうっ…

14 言って、ください…っ

15 つ…うゃんっ、は、んん、んゅっ…

16 リリィの子供おまんこ、んっ…気持ちいゝって——んあっ…

17 オチンポ、気持ちいゝって、うゃんっ、は、んん、んゅっ…

18 沢山、感じないとっ…ふうんっ、あんっ…んっ…んあっ…

1 勿体無い、ですよっ…んうっ…あっ…
2 んあっ…ああ、んっ…はあっ…んあっ…
3 はあ…はあ…んうっ…んああ…っ
4 折角——ご主人様とリリイが、んっ…あっ…
5 初めて、肌を重ね合った、んっ…夜、なんですよっ…はあっ…
6 んっ…はあ、あっ…

8 SE:ピストン 速め ←

9
10 ——んあッ…!
11 んっ、は、んん、んゅっ、はあっ、んうっ…
12 はあっ、そう、です、そうですっ、はあ、んっ…
13 そうやって、リリイのこと、んっ、
14 抱きしめなが、らっ、んあっ、はあっ、んっ…
15 もっと、んッ…もっとリリイの体、求めてくだの——んうッ…
16 はあっ、はあっ、はっ、ふうッ、はあ…っ
17 はい、はい…っ
18 そう、腰を激しく、打ち付けるみたいに、んッ、はあッ…

1 はあ、んやあっ、あふ、んうっ…
2 んあっ…んっ、んう…はあっ…
3 うやんっ、は、んん、んゆっ…
4 ふうんっ、ああん…っ
5 ふ、ふーッ、ふー…っ

7 SE:ピストン スパート 射精に向けて
←

9 //イキそう 無声ベースのまま激しめの漏れ喘ぎ

10 あぐっ、はあ、はあ、んッ…

11 ご主人、様、んあ…ッ

12 リリィ、もう、はあ、はあ、んっ…

13 もう、イキそう、ですっ、あっ、ん、んッ、はあッ…

14 このまま、ご主人様、もっ、あんっ、んッ、んうっ…

15 最後まで、気持ちよくなって、んっ、はッ、んあっ…

16 リリィのおまんこ、の、んっ、中で、あっ…

17 射精——して、くださいっ…

18 んっ、はッ、うっ、あぐっ、ふっ、ふッ、んあッ——

1 イく、イきます、ご主人さま——んはぁッ…

2 んっ、はッ、っく、イクッ——

3

4 SE：射精

5

6 //絶頂 吐息たっぷりに、叫ばないように

7 ↓その後、痙攣するような吐息と余韻 徐々に穏やかに

8 んんんう——ッ…

9 んうッ——んっ、は、あっ……——ッ……♡

10 あ、うあ、お、あ——

11 はあ、はあ、はあ、はあ——っ

12 ふー、ふー…かひゅ、ふうう…

13 ぜえ、ぜえ、ぜえ、ぜー…

14 ん、う…あ、あ——

15 はあ…っ——

16

17 //一行目で「正面・密着」へ移動 有声囁き

18 はあ…はあ…

1 んっ——はあ…

2 出まし…たね…

3 沢山…出しまし、たね…

4 リリィの中に…精液——

5 どうでしたか、ご主人様…

6 初めての、女の子の、体——

7 ——セックス…

8

9 ——ん…

10 ……そうですね

11 気持ちよくて、幸せで——

12 自分のことを…自分の性欲を、女の子が受け容れてくれるの——

13 ——とっても、満たされたんですよ

14

15 //ご主人様が満たされていないことにはもう気づいている

16 ……

17 それなのに——

18 せっかく、恋人と初めてのセックスを終えたばかりなのに——

1 どうして——そんな顔を、するんですか

2
3 **／＼行目で「右・密着」へ移動 吐息多めな有声囁き**

4 ん……

5 屋敷のこと——あの人のこと…考えているんですか

6 ——たった一人女の子を抱いただけでこんなに幸せなのに、

7 あいつは——あのクソ親父は——

8 両手では数えきれないほどのメイド全員と、

9 こんなに気持ちのいいことをしていたのか…とか——

10 ——両思いなんかじゃなくても、

11 あんなに可愛いメイドさん達の体を権力で好き放題して、

12 性欲をぶつけていたのか…とか——

13 僕は、絶対にあんな最低な男になりたくない…とか——

14 ——じゃあ、僕は、一生——あれ…できないのか…とか——

15
16 ……

17 ——ねえ、ご主人様

18 ご主人様とリリィが、初めて繋がったこの夜に…

1 今、その心の中で燃えているのは…愛情や、恋慕れんぼ たぐいの類ですか
2 それとも——後悔や、侮蔑ぶべつや、劣情や、失望——
3 何よりも——
4 ——嫉妬や…羨望せんぼうですか
5
6 //しばし沈黙
7 ……………
8 ……
9
10 //一行目で「正面・中」へ移動 囁きストップ
11 いつもの調子に戻ってニュートラルに
12 んっ——と…
13 さて…私は一度、シャワーで体を流してきます
14 ご主人様の精液で、
15 あちこちネバネバのべっタバタになってしまいましたから
16 生クリームだの練乳だのと、言い訳もできない姿です
17 深夜帯ですら放送禁止、ブルーレイでの楽しみ…
18

1 //わぢゅらつく

2 —おっと

3 その前に—

4

5 //一行目で「左・密着」へ移動 吐息たつぷりに有声囁き

6 んっ—ん…

7 —ねえ、ご主人様

8 リリイが、これから一人でお風呂に入るとして—

9 脱衣所で、このメイド服を脱ぎますよね

10 さて—今、リリイのメイド服のポケットには—

11 —何が…入っているんですけどっけ

12

13 それを使えば、主人は—

14 使用人に…どんなことを、させられるんですけどっけ

15

16 ……

17 …ご主人様

18 例えば、ですが—

1 男と女がいて、彼らは両思いで、恋人で——
2 だからって、
3 お互いを思いやるようなことしかできないわけでは
4 ないんですよ
5
6 ……たまたま女の方にマゾっ気があって、
7 命令されて奉仕することを
8 至上の喜びと感じているのだとしたら——
9 男が、一方的に女をひねまわ跪かせて、
10 踏みつけて、従わせて、奉仕させることも——
11
12 愛なんだ、と——
13 ——そう思うことも、できませんか
14
15 だったら——
16 ——そういうことにすれば、いいじゃないですか
17 ——そう思ってしまえば、楽になれるじゃないですか
18

1 　いつまでも、過去の亡霊を憎んで、恨んで、羨んで――
2 　自制して、両手足を縛り付けて、欲を押し殺して、
3 　亡霊の負債^{ふねい}まで背負って――
4 　それではあまりにも――報われないと、思いませんか
5 　――もう…いいじゃないですか
6
7 　リリィは――いいですよ
8 　ご主人様が相手なら…いいんです
9
10 　／＼行目で「正面・中」へ移動　囁きストップ
11 　……
12 　では――お風呂、お先に失礼します
13
14 　…もし、リリィの入浴の際に、
15 　何か準備しておきたいことがあるなら――
16
17 　――ご自由に、どうぞ
18

トラック4 儀式の真似事 ご奉仕フェラ／オナホセックス

■主人公の部屋

SE: リリイの足音 裸足 ドア越し

SE: 室内ドア 開く

//正面・中

ご主人様

お風呂、あがりました

SE: 室内ドア 閉じる

//灯されたロウソクに気付いて

あ――

――ふふ…

それ――しょうぐだう燭台もなく、香りもない…

100均のガラス皿に灯された、一本だけの安ロウソク…

1 それが——リリィを呼び出す、新しい記号…なんですね

2
3 ——ふふ…

4 ——はい、勿論です

5 それが、リリィの——私達メイドの、存在価値ですから
6 では——

7
8 SE：お辞儀

9
10 ／＼行目で咳払い 別人みたいに一気に恭しく

11 心から主人に仕え尽くすメイドのように

12 んっ、ん…

13 ——今宵は、私に奉仕を命じていただきありがとうございます

14 ご主人様のお相手をさせていただけるこ…

15 何よりの喜びでございます

16 ご主人様も、既にお召し物をお脱ぎになって、

17 待ちきれないようですね…ふふ…

18

1 /素に戻って

2 —んむ…？

3 なんですか、その顔は

4 そんな、初めてループものを見たような驚愕の表情で見られても
5 リリィから伏線回収なんて出ませんよ

6
7 —ん？

8 —別人、みたい？

9 む、聞き捨てなりませんね

10 繰り返しますが、リリィはエリートなメイドさんです

11 奉仕の時に、主人を喜ばせるテク満載な

12 激エロうつふんロリメイドさんになることだって、

13 造作也没有せん

14 万物は流転する——無論リリィも流転します
ばんぶつ るてん

15 ログスもアペイロンも見方次第、無用な定義は火事の元です
むよう

16 曖昧模糊しか勝たん——
あいまいもこ

17 このままもこもこ包まれた方が、ぬくぬく生きていけるものです

18

1 —ん？

2 —意味が、わからない？

3 さあ、何のことだか

4 …ま、そんなことはさておき——

5

6 //また別人のように恭しいメイドになって

7 —お膝、失礼いたします

8 ご主人様はそのまま、楽な姿勢で椅子に座っていてください

9

10 SE：主人公の膝にまたがるように座る

11

12 //一行目で「正面・密着」へ移動 有声囁き

13 んっ——ん…

14 —本日、性奉仕を務めさせていただきます、

15 リリィでございます

16 私の身体で…思う存分、満たされてくださいませ

17 ん——では…まずは——

18

1 かるゝいキス 舌入れない

2 んえあ——ちゅむ…っ

3 ちゅむ…んうっ…ちゅちゅう…

4 ん…ちゅ…んちゅ…ちゅむ、ん…

5 ちゅっ、ちゅう…んちゅ——

6

7 //1行目、キスの途中で主人の方から舌を入れてきて驚く

8 ↓その後、男に貪られるように濃厚なディープキス

9 ちゅむ…んちゅれう——んじゅむーっ…!?

10 ぢゅるゅ…んっちゅ…ぢゅづ…ぢゅむ…ちゅっ…ちゅう…♡

11 んちゅ、んじゅる——ぷはっ…

12

13 はあ…はあ——ふふ…

14 ご主人様…

15 舌を入れて、私の口を貪るように楽しんでくださるなんて…

16 ありがとうございます…

17 私の——女の、味…

18 堪能してくださっているんですっ——んむちゅー…っ！

1

2 //もう一度、濃厚なディープキス

3 んむっ…んじゅるる…んうっ…ちゅちゅっ…♡

4 ん…じゅうっ…じゅ…るちゅずず…んぢゅ…♡

5 ぢゅうっ…んうっ…んちゅ…ちゅる…んうれっ…♡

6 んじゅ、んむ…ちゅむる、んむちゅ——ぷへあ…っ

7

8 つはあ——ふふ…

9 ご主人様、もうご子息がすっかりお元気になられて…

10 私のお腹、メイド服越しに犯すみたいに

11 ぐいぐい押し付けて——

12 ふふ…

13 そろそろ、こちらへの奉仕を始めてよろしいでしょうか

14

15 ——はい

16 では、ご主人様はそのまま、背もたれに体を預けて

17 楽にしていってくださいませ

18

SE:リリィ正座

//1行目で「フェラ位置」に移動

んっ——んっ…

あ——ふふ…

ご主人様のオチンポ——

近くで見ると、こんなにも大きいんですね…

本来であれば、このような上級オチンポ様など

見るも叶わない、卑しい身分の私ですが——

ご主人様の命とあらば、喜んで——

11 この、下賤な口^{げせん}で——奉仕…させていただきます

12 まだ幼く未熟な口内ですが、

13 精一杯、もてなさせていただきます

15 では…まずは、簡単なご挨拶を——

17 //2行目でチンポにキス

18 ——オチンポ様…失礼いたします

1 ん〜——ちゅむ…♡

2 ちゅっ…んちゅ…むちゅっ…——ちゅぷ…んはあ…

3 あ——ふふ…

4 オチンポ様、そんなに立派に跳ねさせて——

5 我慢汁も、こんなにとぶとぶと…

6 これは——私の挨拶を受け入れていただけただけでなく——

7 ——このまま、オチンポ様にむちゅむちゅむしゃぶりつくことを

8 許可していただいているのですか…？

9

10 ——ふふ…ありがとうございます

11 では…このまま——正座して、手を膝につけたまま——

12 ご主人様のオチンポ様を私の口に迎え入れて——

13 たっぷり…しゃぶらせていただきます

14

15 /正座ノーハンドご奉仕フェラ（ねっとり味わうように）

16 んえあ——あむちゅ…じゅる…♡

17 んっぢゅ…ぢゅるるっ…ずぢゅず…づゅぢゅ…♡

18 じゅづづっ…んちゅる…ぐちゅ…ずゅっぶ…ぢゅむむ…♡

1 むちゅ…ぢゅずう…れうれうれ…んちゅ…♡

2 えあれろ…んむちゅ——ぷはあ…♡

3

4 いかがですか、ご主人様

5 女の——□の、中…

6 気持ち良くなっていただけでいますか？

7 ——ふふ…何よりです

8 オチンポ様、舐めれば舐めるほど我慢汁が溢れてきて——

9 この世の何よりも美味しく、

10 いつまでもしゃぶっていたくなってしまうほどで——

11 とても、幸せでございます

12

13 ——ご主人様も、ですか？

14 ふふ…

15 では、次は——

16 ご主人様の、お子種がたっぷり詰まった、玉の方…

17 これまで使っていなかったこの両手で、丁寧に揉みながら——

18 オチンポ様への奉仕…続けさせていただきます

1

／玉揉みフェラ 頭を振って奥まで、丹念にじゅっぽじゅぽ

3 んはぁ——あむじゅっ…♡

4 じゅぽっ、じゅぶっ、じゅっ…♡

5 ぢゅっ、ぢゅるる、じゅっぷ、じゅぶぐっ、じゅぽっ…♡

6 ぐぶ、じゅづっ、じゅづっ、ぢゅっ、んじゅっ…♡

7 んじゅ、ぐぽっ、じゅずっ、んむじゅ、じゅぶっ…♡

8 ぢゅっ、ぢゅっ、んじゅっ、んじゅ、ぢゅっ…♡

9 ぢゅっ、じゅぽっ、んっ、ぢゅっ、じゅっ——ぷはぁっ…♡

10

11 はぁっ…んっ——

12 ——ふふ…

13 そんなに顔を上げて、声を漏らして…

14 私の奉仕…堪能していただけているんですね

15 椅子にふんぞり返って、足を開いて——

16 女を硬い床に正座させて、股間に顔を埋めさせて——

17 自分は一切動かずに、格下の女に一方的に奉仕させるの——

18 ——幸せ、ですか…？♡

1 ふふ…

2 ん…ですが—

3

4 //一行目で「右・密着」へ移動 吐息たっぷりに有声囁き

5 んっ—ん…

6 —ご主人様…先程から、

7 しきりに私の頭を撫でたり、肩を触ったり、耳を摘^{つま}んだり…

8 本当は、何か—私にさせたいことが、あるのではないですか？

9 ……—

10

11 //吐息たっぷりのエっロい心情代弁無声囁き

12 もっと—激しくしゃぶれよ…

13 もっと速度上げて、チンポ射精まで導けよ…

14 俺様のいつものオナニーくらいの速度で擦^{こす}らないと—

15 気持ち良くびゅるびゅる精液飛ばせないだろうが…

16

17 //一行目で「左・密着」へ移動 有声囁き

18 ん—ふふ…

1 —承知いたしました、ご主人様

2 最後は、もっと——激しく…したいですよね

3 メイドの口を、性処理用の穴扱いして——

4 気持ちよく…果てたいですよね

5

6 //一行目で「フェラ位置」へ移動 最終行でイラマ

7 んっ——んっ…

8 ほら…ご主人様…

9 オチンポ様の目の前に——ご主人様の所有物の、女の、頭…

10 このまま、私の頭…両手で掴んで——

11 お好きに、使ってくださいませ——んじゅぶッ！

12

13 //頭掴まれてイラマチオ

14 んぢゅ、ちゅっ、じゅぶぶっ、じゅづぶづっ！

15 ぢゅんっ、じゅぐゅむっ、じゅ、んうっ！

16 んっちゅっ、じゅるるっ、んぢゅちゅ、ぢゅずずっ！

17 じゅるる、んちゅぢゅ、ぐぢゅっ！

18 んっんっ！ じゅるる、んうっ、れうちゅぶぐぶぢゅー！

1 んぶ——んぷはっ！

2

3 つはあ、はあーっ…♡

4 どう、ですか、ご主人様っ…はあっ…

5 女の頭を、刹那の快楽のために消費するの…

6 気持ち良くなって、いただけていますk——んぶぐーッ！

7

8 //さっきより激しくイラマ

9 んっぢゅっ、じゅるっ、んぢゅぢゅ、ぢゅずっ！

10 んぢゅ、ちゅっ、じゅぶぶっ、じゅびゅべっ！

11 じゅる、んちゅぢゅ、ぐぢゅっ！

12 ぢゅっ、じゅぐゅっ、じゅ、んうっ！

13 んっんっ！ じゅるる、んうっ、れうちゅぶぐぶぢゅ！

14 んぶ——

15

16 //射精めがけて速度をあげて

17 じゅっ、じゅるうっ、れうんっ、ぢゅぐっ！

18 んぢゅっ、んぢゅっ、ぢゅっ！

1 んじゅるゝ、んぐちゅっ！

2 んうゝ、んぢゅゝ、んじゅんっふんづら——んんっは！

3

4 SE：射精

5

6 //射精に驚く↓頑張って全部ごっくん

7 んんぐ——ッ——んじゅゝ、じゅる——♡

8 ぢゅうう——んちゅう——ぢゅぢゅぢゅ——ぢゅるる——んぐ——

9 んくうゝ、んく——んぐゝん——

10

11 //引き抜かれた後に咳き込む

12 んっ——ぷほうっ

13 ——かはあっ！

14 は、けほ、かはっ、ゲホっ、おえ——っ

15 っ——はあ、はあ、は——っ…

16 はあ…ふー…ふう…

17

18 ん——ふふ…

1 いかでしたか、ご主人様

2

3 //1行目で「正面・密着」へ移動 囁きストップ

4 って——ふふ…

5 そんなに、恍惚ムウモウとした顔をして…

6 圧倒的に身分の低い女に、性欲をぶつけるの——

7 ——とても、気持ち良くなれたんですね

8 ふふ…何よりです

9 では…次は——

10

11 //素に戻って

12 ——む？

13 なんですか、ご主人様

14 今からが本番、

15 リリィの股間の狭い穴ぽこをオチンポでずぼずぼハメ倒して、

16 使用人を使い潰すハメパコレイプの時間です

17 権力万歳、身分差万歳、

18 メスを食い尽くして性欲発散、するんですよ

1

——はい？

2

——もう、出ない…？

3

4

……

5

…そうですね

6

ま、へなちよこご主人様のざこちんぽですから、

7

そんなことだろうと思っていました

8

9

ん…

10

あ、そういえば——

11

12

／＼行目で「右・密着」へ移動 吐息たっぷりに有声囁き

13

わざとらしく嫉妬心を煽って

14

んっ——

15

これは、先輩のメイドさんから聞いた話ですが…

16

『あの人』は——

17

たった一晩で、何人ものメイドさんを抱いていたそうですね

18

そして——何度も、

2
ドロツ…ドロに濃い性欲の証を、

メイドさん達の体に注ぎ込んでいたそうです

…たった一晩で、体内に精子がごびり付いてとれないくらい、

何度も……何度も――

□はもちろん——おまんこの中にも——何度も……

7

おっ——フフ…

関係ない話をしてしまいました、すみません

だって、ご主人様はもう——精液、出せないんですもんね

あの人よりも、オスとして劣っているご主人様には

縁のない話でしたね

13

14 // 3行目の最後で、押し倒されて「正面・密着」へ移動

では、
リリィはお口を濯いで、
ゆす

ご主人様の精液、

綺麗さっぱり洗い流してきますん——んひゃっ……！

18

1 SE:押し倒す

2
3 あ——ふふ…

4 ご主人様、そんな風に力づくで、

5 リリイのこと押し倒してしまうなんて——

6 いつもと違って、随分と男らしいですね、ご主人様

7

8 //1行目の途中から、メイドさんらしく恭しくなって

9 そんなに、リリイの——私の体…使いたいんですね

10 ふふ——はい

11 好きなだけ、私のこと——使ってくださいs——んむちゅ…っ♡

12

13 //キス

14 ん…じゅむ、んうっ…ちゅ、ちゅう…っ♡

15 ん…ちう、じゅる…ちゅむ、んぢゅ…っ♡

16 んちゅ…ちゅる、んうれう…ぢゅりゅ…っ♡

17 んちゅ、んちゅんむ——ぷはあ…っ♡

18

1 はあ…はあ——ふふ…

2 ご主人様の、オチンポ様…

3 そんなに、私のおまんこの入り口に、ぐいぐい押しつけて——

4 ——ふふ…

5 そのまま、腰を前に突き出して、私の中に侵入してしまえば——

6 ——目の前の女は、ご主人様のもの…

7 ん…はい——お願いします…

8

9 SE：挿入

10

11 んっ——んく…ッ——

12 んぁっ——っはぁ、っはぁ…はぁ——

13 ——ふふ…

14 素晴らしいです、ご主人様…

15 オチンポ様…私の中で、こんなに硬く、大きくなって——

16 まだまだ、マンコ耕してやるからな……って——

17 簡単に落とせないくらい、マンコの中精液まみれにして…

18 俺のものにしてやるからな……って——

1 非常に優秀なオス様にしかできない、

2 所有権を主張する、本気勃起…

3 ふふ…いかがですか——？

4 女を、自らの物にした気分は——んう…ッ！

5

6 SE:ピストン 中速 力強めに ←

7

8 //1行目で「左・密着」へ移動

9 無声ベースの甘オホ声 漏れるように、吐息たっぷりに

10 (下品にならないように注意してください)

11 ——んオツ…♡

12 おっ、あっ、オツ、オツ…♡

13 うおっ、お…お…お…♡

14 ふー…ふー…お、お…♡

15 オチンポ、様、おっ、オツ…♡

16 そんなに強く、んっ…突く、なんて…っ♡

17 おっ、ほッ、オツ、お…♡

18 おっ、オツ、お…お…お…♡

1 ふー、ふー…あ…♡

2 はい、はい、オツ…んツ…

3 もちろん、んツ、オツ…気持ちいい、です、んオツ…

4 おっ、んっ、おっ、お…♡

5 ん——んっ…

6

7 SE:ピストン じわじわ速く ←

8

9 //とろけるような無声ベースのオホ声 下品すぎないように

10 ンオツ、オオオオツ…♡

11 オツ、オツ、あっ、おおお…ツ…♡

12 お——っ…オツ、オツ、あっ、オツ…♡

13 オチンポ、様、オツ、強すぎ、て、おツ…♡

14 私の、弱々まんこ、おおお…ツ…♡

15 奥、オツ…簡単に、届いてオツ、んっ、うツ…

16 おごっ、ホオツ、んぐおっ、オアツオツ、んっ、オツ♡

17 おうおっ、オオオ…ツ…ほっ、ンオツ♡

18 おっおっ、んおっ、オツ♡

1

SE:ピストン やらにじわじわ速く、スパートに向けて ←

3

／オホ声のテイストはそのままに、吐息多めな有声囁きに

4

はあっ、おっ、おッ…ご主人、様、んおっ、オオオオッ…♡

5

オッ、私、もうっ、ンオッ、オッ…♡

6

オッ、オッ、んおっ、オッ♡

7

このまま、中に、オッ…ご主人様、の、オッ…お子種…っ♡

8

んぐっ、オッ、オッ、オオオッ…♡

9

あっ、おっ、おっ、おっ…♡

10

う、う…

11

12

／絶頂に向けてスパート

13

は、ふ、ふっ、ふッ、んおおッ…♡

14

おッ…イッk、オッ、私、もう…ッ♡

15

おっ、オッ、おっ、オッ、おっ、オッ♡

16

イぎ、ます、おっ、イクオッ、イクンオッ、オッ♡

17

ああイク、イクイクイクイクイク——

18

1 んぐツ、オツ、おツ、おオツ、おっオツ――

2

3 SE：射精

4

5 〓絶頂 ↓ 余韻オホ 徐々に緩やかに

6 ンオツ、オツ、お、オオオオ……ツ……♡

7 あ、うあ、お、あ――

8 はあ、はあ、はあ、はああ――っ

9 ふー、ふー……かひゅ、ふうう……

10 ぜえ、ぜえ、ぜえ、ぜー……

11

12 〓一行目で「正面・密着」へ移動 有声囁き

13 はあ――んっ――ん……

14 ご主人様……

15 お腹の、中……とても――あったかいです……

16 ご主人様の、貴重なお子種様――

17 私の奉仕穴に、たっぷり排泄していただき――

18 ありがとうございます……

1 …ん――

2
3 SE: ご主人様がリリィにぐったり身を預ける

4
5 //一行目で「右・密着」へ移動

6 ご主人様が倒れかかってきて素に戻って

7 はうっ…

8 ん――む…

9 どうしたんですか、ご主人様

10 そんな風に覆い被さられたら、

11 いくら可愛く強いメイドさんのリリィでも重いですよ

12 ん――全く…

13 そんなに汗びっしょりで、ぐったりして…

14 ヨレヨレのボロ雑巾にぞっくりです

15 お掃除にでも使って欲しいんですか

16 それとも、

17 窓辺の埃と一緒にごみ収集車デートでもしたいんですか
18

1 —ん？

2 流石に、疲れた…？

3 ……

4

5 //またわざとらしく嫉妬心を煽って

6 へ…

7 やっぱり、ご主人様じゃ——この程度で、限界なんですね

8 リリイがあんなにゆっくりお風呂に入って、

9 回復時間をあげたのに——

10 たった2回射精ただけで——もう限界、ですか

11

12 //わっつぷとらしく

13 はあ…

14 あ…

15 リリイは、激しく喉を犯されても、レイプみたいに襲われても…

16 まだ、満足できてないのになあ…

17 あゝあ…もしかしたら——

18 ——あのろくでなしなら、

1 もっと気持ちよくしてくれたかもなあ…

2 あゝ…

3 リリイ、せっかく抱かれるなら、あのの方が——あッ——

4

5 SE: 主人公、リリイの肩を強く掴んで布団に押さえつける

6

7 //一行目で勢いよく「正面・密着」へ移動 楽しそう・余裕そうに

8 ——きゃ…ッ！

9 あ——フフ…

10 何の真似ですか、ご主人様

11 リリイの肩、そんな風に両手で押さえつけて——

12 ——流石に、痛いですよ？

13 フフ…

14 だって——ご主人様は、もう——

15 ——満足…したんですよ？

16 メイドの体を一方的に使って、心ゆくまで射精して——

17 ほら…あのと同じ——

18 ——ずっと憧れてた、夢のような特権階級生活じゃないですか

1 リリィは、自分を満足させてくれないご主人様には

2 ほとほと愛想あいそも尽き果てましたが――

3 気持ち良く性欲を満たしたご主人様には、

4 関係のない話ですもんね

5 そう言うことなので…もう、離れてくれませんか――んうッ…

6

7 SE:ピストン中速 ←

8

9 〱行目で「左・密着」へ移動 無声ベースの甘オホ声

10 オッ、ンオッ、アオッ、オッ♡

11 おっ、んおっ、あおっ、オッ…♡

12 ご主人、様、オッ、んおッ…♡

13 んぐオッ、おっ、オッ、あっ、んっ…♡

14 おっおっ、ふっ、ふーッ、そう、です、オッ♡

15 そうです、よね、オッ、オオオ…♡

16 オッ、オッ、オッ…♡

17 ご主人様なら、おッ、そうすると、思っ、ました、おッ…♡

18 私の、ことも、オッ、オッ♡

1 リリィの、ことも、お、んおッ…♡

2 最後まで、んおっ、おお…

3 満足させて、オッ、くれるって…んっお、おッ…♡

4 おおおお…おっ、おおお…ッ♡

5 ふっ、んっ、うっ、うっ…♡

6

7 SE：jjjjj辺からjjjjjjwjjwjjwストン速くして ←

8

9 //一行目で「正面・密着」へ移動

10 ディープキスしながらピストンされて

11 吐息とオホ声がぐじゅぐじゅに漏れ出る

12 フー…フー…ッ♡

13 んぁ——ちゅっ、ちゅむっ、ちゅう…ンッ…♡

14 ちゅっ、ちゅっちゅうう…ふー…ふー…

15 ぢゅるるっ、ぢゅづづっ、ちゅっゅうう…おっ…♡

16 ぢゅっぢゅ、んっん——…ぷはぁ…っ♡

17 はー…はー…♡

18

1 ンッ、オッ、オッ、お…♡

2 んおっ、オッ、すごい、おッ♡

3 おまんこの中、おっおッ…すごく、なって、おっ、んおッ♡

4 はー…はー…ッ♡

5 んっうっ、ん——ッ…♡

6

7 SE:ピストン 速め ←

8

9 //一行目で「右・密着」へ移動 スパートに向けてじわじわ下品に

10 ンオッ、オオオオッ…♡

11 おごっ、ホオッ、んぐおっ、オアッオッ、んっ、オッ♡

12 おうおっ、オオオ…ッ…ほっ、ンオッ♡

13 オッ、ンオッ、オッ、オッ、オオオ、オッ…♡

14 んっ、オオオッ、あおっ、オオッ、んぐっ、オッおおッ♡

15 ご主人、様、んおッ、んぐオッ♡

16 好き、オッ、好きっ、です、ンオッ、オッ…♡

17 もっと、ちゃんと、おッ、おっ…リリィの、こと、オッ…♡

18 愛して、くれない、と、オッ、オッ…♡

1 リリィ、やっぱり、ッ、ご主人様の、こと、オッ、おっ…♡
2 見放してしまうかも、おッ、ですよ、オッ、オッ…おお…ッ♡
3 んぐっ、オッ、オッ、んっ、フーッ、フーッ…♡
4 んっ、うア…ッ
5
6 SE:ピストン いっちばん激しく速く スパート ←
7
8 /クライマックスの下品な完熟オホ 無声ベースのオホ声
9 オッ、ンオッ、オオオッ、オッ♡
10 んぐおっ、ホオオオオッ…♡
11 オッ、オッ♡
12 んおっ、オオオッ♡
13 オッ、オッ、んぐっほっ、オッ、オオオオ…♡
14 もっと、もっとオッ、オッ…♡
15 最後まで、ちゃんと、おッ、激しく、して—
16 残りの精液、全部、オッ…♡
17 リリィの中に、おッ、出し切って、ください…っ♡
18 おっ、オッ、オッ、あおっ、ンッ、オオオ…♡

1 んぐオツ、おつ、オツ、あつ、んっ…♡

2 オツ、おつ、おつ、んっ、うっ、お♡

3 オオオオツ、オツ…♡

4

5 //絶頂に向けてラストスパート

6 オツ、んおつ、オツ、オツ…♡

7 あ、もう、オツ、おつ、もう、リリイ、おつ、ぐっ、んっ♡

8 リリイ、いき、ます、おツ、おつ、♡

9 最後、一番すごいの、おツ、きちやいまs——

10 おつ、あおつ、オツ、ンオツ、オツ…♡

11 おつ、オツ、ンオツ、オオオオオオツ…♡

12 おあいくっ♡ ご主人様も、一緒に——んおおツ——

13 イくッ——イくイくイく、イ、く——ッ♡

14 イくイくイくイくイく——ッッッ——ンオ——ッ…♡

15

16 SE:°JUST~ン↑

17 SE:射精

18

1 //吐息混じりの有声囁き

2 絶頂↓吐息 徐々に緩やかに

3 あぐっ、オオオ——お…お…ツ…アッ、お…ツ♡

4 んお…おっ…♡

5 は、が、ひゅっ——♡

6 ふうっ、ふーっ、ふーっ、う…あ…

7

8 んお…おお——っ…

9 お…お…お——あ、お…お——お…♡

10 ぜえ、ぜえ、ひゅー、ひゅー…

11 あ…ん…つく…う…ああ…♡

12 はあ、はあ…ふ——ふ——…

13 ふうっ、ふ、ふうう…♡

14 はあ、はあ、はあ…♡

15

16 //一行目で「正面・密着」へ移動 事後のキス

17 んっ——んはあ…ん——

18 ——ちゅむ…♡

1 ん、ちゅ…んあむ——ちゅ…♡

2
3 …ん——

4 ——ん…？

5
6 //「満足した？」と聞かれて

7 ——満足、できたか…？

8 ん——ふふ…

9 そんな風にご機嫌伺いなんてしていたら、

10 まるでメイドさんですよ

11
12 やっぱりご主人様は、

13 あの人みたいな権力者にはなれなさそうですね

14 少なくとも——

15 リリィに嫌われるかもしれないってだけで、

16 あんな顔になっているようでは——

17 ——リリィ一人捨てられないようでは——

18 ——全然、だめだめです

1
2 —ん？

3

4 //一行目で抱きしめられて「左・密着」へ移動

5 え——はうつ…

6 あ…ん——

7 ……

8 —ん？

9 残りの、ロウソク…？

10 ああ…そうですね、まだ4本、使っていないのが残ってますね

11

12 ……

13 —はい？

14 ————いらないから、捨てる…？

15

16 ん——ふふ…そうですね

17 随分吹っ切れた声で言っんですね

18

／＼行目で「正面・密着」へ移動

…ですが――

――残念ですが、あれは捨てずにとっておきます

当然でしょう

今の生活では、いつ電気が止まるかも分からないんですよ

有事の備えは、あればるほど憂いなし…

無益な浪費は、

愚かな暇人か、もっと愚かな富裕層がすることです

まあ、それに――

もしかしたら…またご主人様が

ロウソクを使いたがる時が来るかもしれませんし

ふふ…大丈夫ですよ

…その時は――ふふ…

またリリィが、

そのくだらない夢から、目覚めさせてあげますから

トラック4 終

1 トラック5 エピローグ

2

3 ■狭い1Rの賃貸

4

5 SE：ご主人様の帰宅

6

7 //正面・中

8 —お

9 帰ってきましたか、ご主人様

10 お帰りなさい

11 —ん？

12

13 —はあ…

14 何ですか、そのしょぼくれた顔は

15 深淵でも覗き込んでいるんですか？

16 そんなことばかりしていると、

17 深淵からも覗き返されてしまうと巷^{ちまた}では専^{せん}らの噂^{うわさ}です

18 どのフリードリヒが流した風説^{ふうせつ}か知りませんが、

1 せつくなので、これを機に信じておきましょう

2 損切り上等、ミハー上等、長い物には巻かれ得です

3

4 ――？

5 ――お仕事で、怒られた…？

6

7 はあ…そんなことですか

8 気にするだけ無駄ですよ

9 歴史を辿れば、鎖国だの何だののたまと宣って、

10 国家ごとぼっちを極めていた閉鎖的な島国ですから

11 異国からの中途社員との

12 コミュニケーションもまともに取れないような、

13 陰気な人だっているでしょう

14 …ま、ご主人様が言えたことではないかもしれませんが

15 とにかく、一旦忘れてご飯にしますよ

16

17 //ちよつとご機嫌そつに

18 ほら、今日の夕ご飯は、リリイ特製のオムライスです

1 なんと今日は、卵の割引戦争を制することができたんですよ

2 あまた
数多のおばさま方にぎゅうぎゅうに挟まれていたら、

3 横にいたおばさまが、ひとパック分けてくれたんです

4 ふふ…いつもは半額のもやしを奪い合う憎き宿敵ですが、

5 今日ばかりは、リリィの可愛さに敵わなかったようです

6 ふふ、まだこの国も捨てたものではないですね

7 今度何かあったら恩返ししてあげましょう、むふふ――

8

9 ／＼主人のテンションが上がっていないと気付いて

10 ちょっと落ち込んだじゃうのが隠せない感じで かわいく

11 ――む…

12 ん…

13 ご主人様、いつまでそんなに落ち込んでるんですか

14 ん――いえ、まあ…気持ちは分かりますし、

15 お仕事は大事ですが…ん…

16

17 …リリィのご飯より、職場の上司が大事なんですか

18

1 …リリィ、今日はいつもよりも豪華になって、
2 デミグラスソースも隠し味たっぷりで作って
3 ご主人様に当ててもらおうと思ってたのに…

4

5 SE：リリィの頭に手乗せる ぽふっ

6 SE：なでなで 2 往復

7

8 —はうっ…

9 う…んう…急にお子様扱いしないでください

10 何なんですか、もう…

11 ん—む…何にここにこしてるんですか、今度は

12

13 —ご飯、食べる…？

14

15 //主人公の優しさに、しみじみと嬉しそうに

16 あ—

17 …ふふ

18 —まったく…

1

SE: 食器の音や衣擦れとか、配膳の準備 日常感のある音 ←

3

//いつも通りわちゃわちゃ またご機嫌気味に

4

では、ご飯にしましょう

5

ほら、ご主人様もお皿出してください

6

ふふ、今日のオムライスは傑作ですよ

7

味はもちろん、お財布にも優しい一石二鳥のスーパーフード

8

チアシードもびっくりの愛情満点メニューです

9

まあ、どうせバカ舌のご主人様には

10

リリィ渾身の隠し味は一つも分からないと思いますが、ふふ――

11

12

(フエードアウト)

13

14

15

トラック5 終